



警 告

12ボルト車にのみ使用のこと。

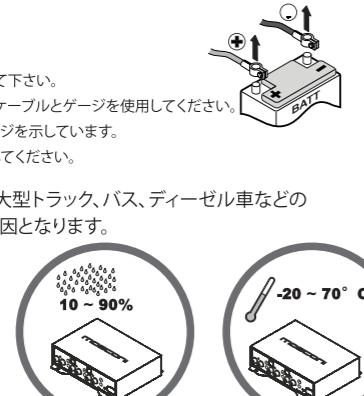
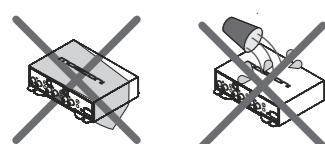
作業前にターミナルを外してから作業を行って下さい。

現在の負荷、ケーブルの長さに合ったパワーケーブルとゲージを使用してください。

当マニュアルの表は安全使用できる最小ゲージを示しています。

可能な限り利用可能な最大のゲージを使用してください。

当機器はDC12V(ー)アース車専用ですので大型トラック、バス、ディーゼル車などの24V車では使用しないでください。火災の原因となります。



問題が発生したらすぐに使用中止してください
順守しない場合、ケガや製品の故障につながることがあります。修理は認可されたMOSCONIディーラーまでご連絡ください。

製品の修正や改造を行わないでください
事故や火災、感電を引き起こす可能性があります。製品の修正や改造を行うと、明示・默示どちらの保証も無効になります。

製品の取り付けや接続は専門家が行ってください
取り付けや接続には専門の知識や経験が必要です。安全のため、正しい取り付けには必ず専門店へ連絡してください。

極端に湿度の高い場所や埃のある場所での取り付けはしないでください
過度の湿気や埃のある場所での取り付けは避けてください。製品内に湿気や埃が入ると製品の故障につながります。

表面が感熱しやすい場所での取り付けはしないでください
アンプが80°Cを超える温度に達したり、感熱した表面に触れたりすると火災の原因や、表面の損傷を引き起こすことがあります。

ドリルで穴を開ける際、チューブやケーブルを傷つけないでください
取り付けのためドリルで穴を開く際は、チューブ、燃料パイプ、燃料タンク、電気ケーブルを傷つけたりふさいだり、触れたりしないよう細心の注意を払ってください。これらの事前注意を怠ると、火事や故障を引き起こします。

通気口やヒートシンクパネルをふさがないでください
通気口やヒートシンクパネルをふさぐと、アンプの内部温度の上昇を招き、火災の危険に繋がります。

この製品は12V車のみに使用してください
12V車以外に使用すると火災や感電、その他の事故を引き起こします。

製品を取り付ける前に、バッテリーのマイナスターーミナルを外してください
ショートにより感電や故障、ケガをすることがあります。

火災の危険や製品の故障を防ぐため、適正基準を満たしたケーブルを使用し、接続の両極性に十分注意
したうえで、適正な接続を行ってください。

ケーブルが車の部品に絡まないようにしてください
取付説明書に従い車両運用を妨げることがないよう、正しく接続してください。
ステアリング部品、ギアバー、ブレーキペダルに絡むと危険です。

ケーブルが先の鋭利な金属により曲げられたり、圧縮されたりしないよう正しく配置してください
シートレールのような可動部品や製品内部の金属で角ばった鋭利な部分、先のとがった部品に、
ケーブルが直接触れないように配置してください。
金属部に穴を通して場合はゴムスペーサー等を使用し、奥の部品を先の尖ったもので損傷させないようお気
をつください。

アース接続を行な際は、ステアリングやブレーキシステムに属するボルトは使用しないでください
アース接続を行な際は、ステアリング、ブレーキシステムそのほかの安全装置、燃料タンク等の固定用ボルトを
決して使用しないでください。
これらの固定用ボルトを使用すると、車両制御不能や事故、火災そのほかの損傷を引き起こすことがあります。
ヒューズに関しては定格アンペアを使用してください。
基準値以外のヒューズを装着した場合火災や感電が起きる可能性があります。

正しい付属品を使用し、取付説明書に従ってください
必ず指定の付属品を使用して下さい。
他の部品を使用すると、製品を損傷させたり、不適切な取り付けの結果を招き、安全に取り付けられない場合、
誤作動や危険を引き起こします。

運転の注意をそらすことになるような製品の操作はしないでください
継続的な注意が必要な操作を行なう時は、車を完全に停止してください。
操作を行うときは安全な場所に停めてください。事故につながる可能性があります。

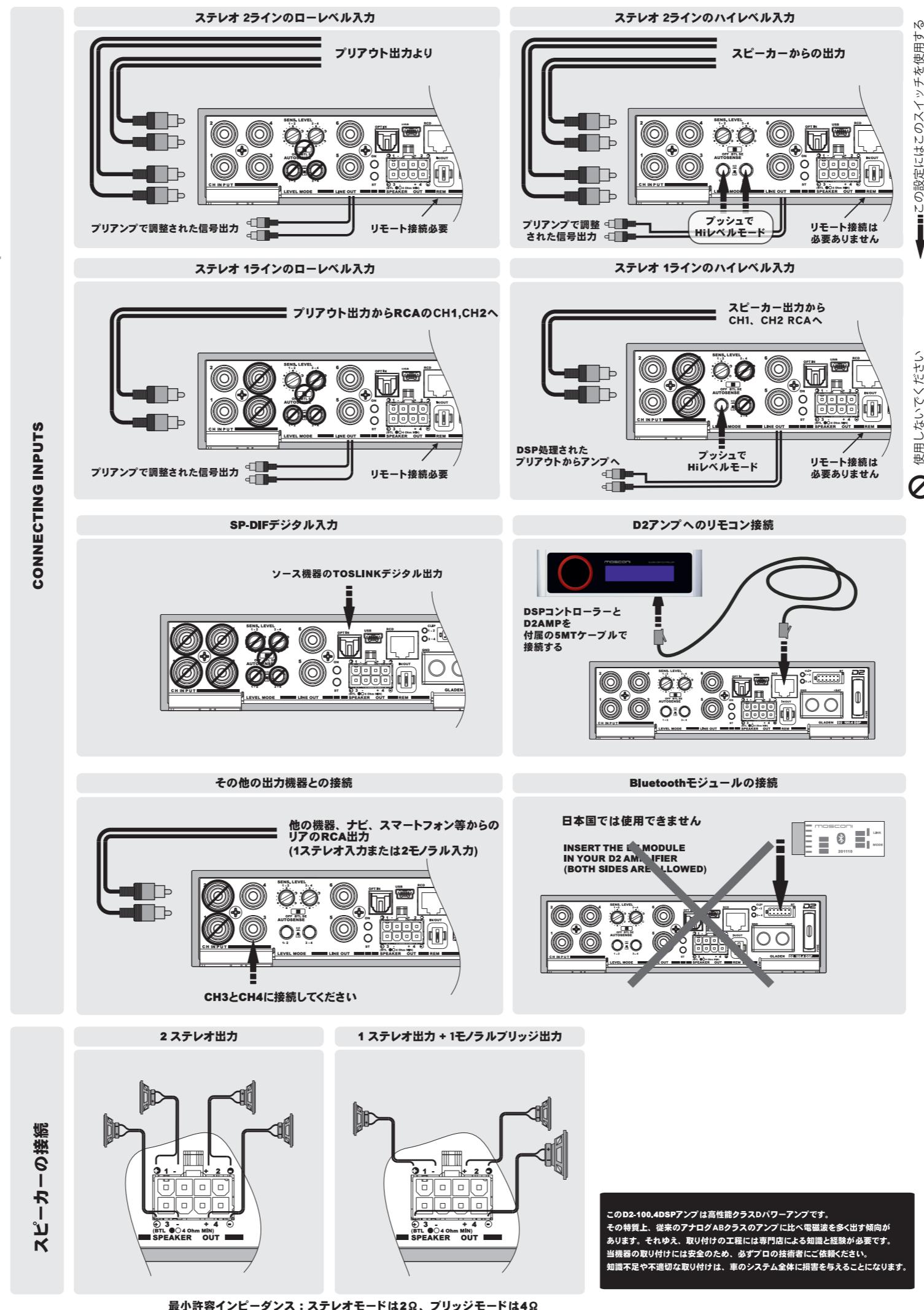
運転中は車外の音が聞こえる程度の音量ボリュームを維持してください
緊急車両の音や踏切などの音を遮るような過度の音量は、事故を引き起こす可能性があり危険です。
また、車内での大音量はあなたの聴力にも支障をきたす可能性があります。

Stereo power RMS @4Ohm	W 4 x 105 [@ 14V4] - 4 x 80 [@ 12V6] - 4 x 60 [@ 11V]
Stereo power RMS @20Ohm	W 4 x 130 [@ 13V8]
Stereo (CH1-2) + Bridge (CH3-4) @4Ohm	W 2 x 90 (ST) + 1 x 280 (BTL) [@ 13V8]
DC-DC converter typology	Unregulated-Push Pull
Input sensitivity/range	V 0.75-12(L) ; 1.9-1(H)Vrms
Autostart power-on (High Level only)	3 modes: OFF, BT1, SE [as output, REM pin drives up to 100mA]
Hand-free, Navigator, AUX Inputs	yes (CH3-4)
Auto-remote being used	Inputs
Sign. Mir. capability	yes
USB cable for PC connection	yes
SP-DIF digital input (optional)	yes
Parametric equalizer bands	yes
Implemented filters type	Toslink
HP frequency range for each channel	30(CH1-2) / 25(CH3-4) / 9(CH5-6)
LP frequency range for each channel	all standard filters available
HP and LP Filter slope for each cell	Hz 10 ~ 20000
Band pass allowed	dB/Oct 10 ~ 20000
Variable Ω	ms 6-12 (up to 60 (CH1-2-3-4) or 48 (CH5-6), if cascaded)
Time delay	ms 0.5 ~ 40
Phase inversion for each channel	0 ~ 15ms(0.02steps)
Gain level for each channel	dB 0 / 180° -0.121.5 -0
Overall efficiency	>75%
Internal fuse	A 1 x 40
Dimensions	mm 150 x 145 x 40
Weight	g 1028
Finishing	Silver(brushed)
Options:	- Remote control (RCD and RC-Mini) - Bluetooth streaming module (MOS-BTM) [t.b.a.] - Bluetooth communication module (MOS-BTM)

注: このアンプは、実際のスピーカーで音楽を再生するために設計されています。純粋な抵抗負荷での静的信号の駆動には適していません。

スピーカーの接続

CONNECTING INPUTS



GLDEN D2 100.4 DSP

ITA, DEUT, ENG

MOSCONI
 GLDEN AUDIO EUROPE

OWNER'S MANUAL
WARNINGS
WARRANTY CARD

GLDEN D2 100.4 DSP

重 要 当マニュアルをよく読み、当製品の規制や機能をよく理解してください。

製品の安全な取り付け、使用のため、注意書きに従ってください。



古い電気製品および電子製品の廃棄に関する
(分別廃棄を採用している国に適用)

製品やパッケージにマーク(ゴミ箱にXマークが入っているマーク)が書かれている場合、家庭ごみとして廃棄すること
はできません。

古い電気製品や電子製品は特別廃棄物処理施設でのリサイクルが必要です。

詳細については、地方自治体に連絡し、お近くの廃棄物処理施設をご確認ください。

資源保全、また健康や環境を有害な影響から守るために、正しいリサイクル、廃棄を行ってください。

この製品は車体より取り外さなければ、車体ごとの廃棄が可能です。

Designed and Manufactured in Italy by MOS - www.mosconi-system.it - www.mosconi.org

ソフトウェア ダウンロード

最新版のソフトウェアを入手するには、
以下のサイトからダウンロードしてください。
www.gladen-audio.com/DSP/download/www.gladen
ダウンロードができない場合は、販売店にお問い合わせください。

システム要件: Windows XP, Vista, 7, 8, 10 (32ビットおよび64ビット)。
setup.exeをダブルクリックすると、プログラムが自動的にインストールされデスクトップにMOSCONI DSPのアイコンが表示されます。
次のステップの順番に注意してください。
D2 DSPを、付属のUSBケーブルを使って接続してください。接続後60秒以内にD2 DSPとの接続を認識します。
これにより、PCで設定したDSPデータをDSPにアップデータとし、また、DSPに保存されている設定情報をPCにダウンロードすることができます。
ソフトウェアに動画による説明が付属しています。再生にはQuickTimeが必要です。
終了するには、ソフトウェアを終了し、DSPとPCの接続を解除してください。設定は自動で保存されます。

重要: クロスオーバーフィルターにて設定できる Q 値の範囲は広範囲に及ぶため、クリッピングが発生しやすくスピーカに負担がかかります。設定中は常にLEDを見て、クリッピングがないか確認してください。設定には使用域が必要で、さもなければスピーカーの破損の恐れがあります。
安全のため、間違った設定やソフトウェアの不具合によるツイーターの破損を防ぐために、10Fのコンデンサーをツイーターの入口に入れておくことをお勧めします。

オートセンス:ソースに「BTL」技術がない場合は、「SE」に切り替えます。
「SE」は「シングルエンド」を意味し、「BTL」は「ブリッジタイドロード」を意味します。
「SE」と「BTL」は、すべてのヘッドユニットの電源出力段の電気的構成を指します。
古いヘッドユニットや安価なヘッドユニットは、出力段が低い(4Ωでチャンネルあたり10~15Wrms以下)ので、そのため、適切なオートセンス動作を実現するために「SE」モードを使用する必要があります。
最近のヘッドユニットはほとんどが高出力のステージを持っています(通常、4Ωで35~50Wrms/ch)を搭載しているので、「BTL」モードを推奨します。

SEは、ヘッドユニットの出力信号を常に一定の閾値と比較し、それ以上の値であれば、オートセンス回路が少なくとも1分間アンプを作動させます。

オートセンス回路は、少なくとも1分間はアンプを作動させます。

1分以上、適切な信号が検出されない場合は、アンプがオフになります。

***オートセンスを使用する場合はBTLモードにして下さい
*BTLモードがない場合はオートセンスはOFFにして下さい**

LED表示灯

1: 起動中

ゆっくり点滅(3秒間): DSPが起動中で、EEPROMからデータを読み込んでいます
消灯(1秒以内): MCU(制御装置)がフィルターなどの設定をレジスターに書き込んでいます
点灯: 1つのレジスターの書き込みに成功しました

2: 起動終了

消灯: 正常に起動しました
点灯: 起動中にエラーが発生しました

3: 動作中

短くパラパラの間隔で点滅: クリッピングせずに出力されています
早く等間隔で点滅: オートフェイドを検知し、メインミキサーの動作を停止しました
ただし、ずっと点灯したままの場合は別のミキサーが動作中で、バックフェイドタイム中です

4: DSPソフトウェア操作中

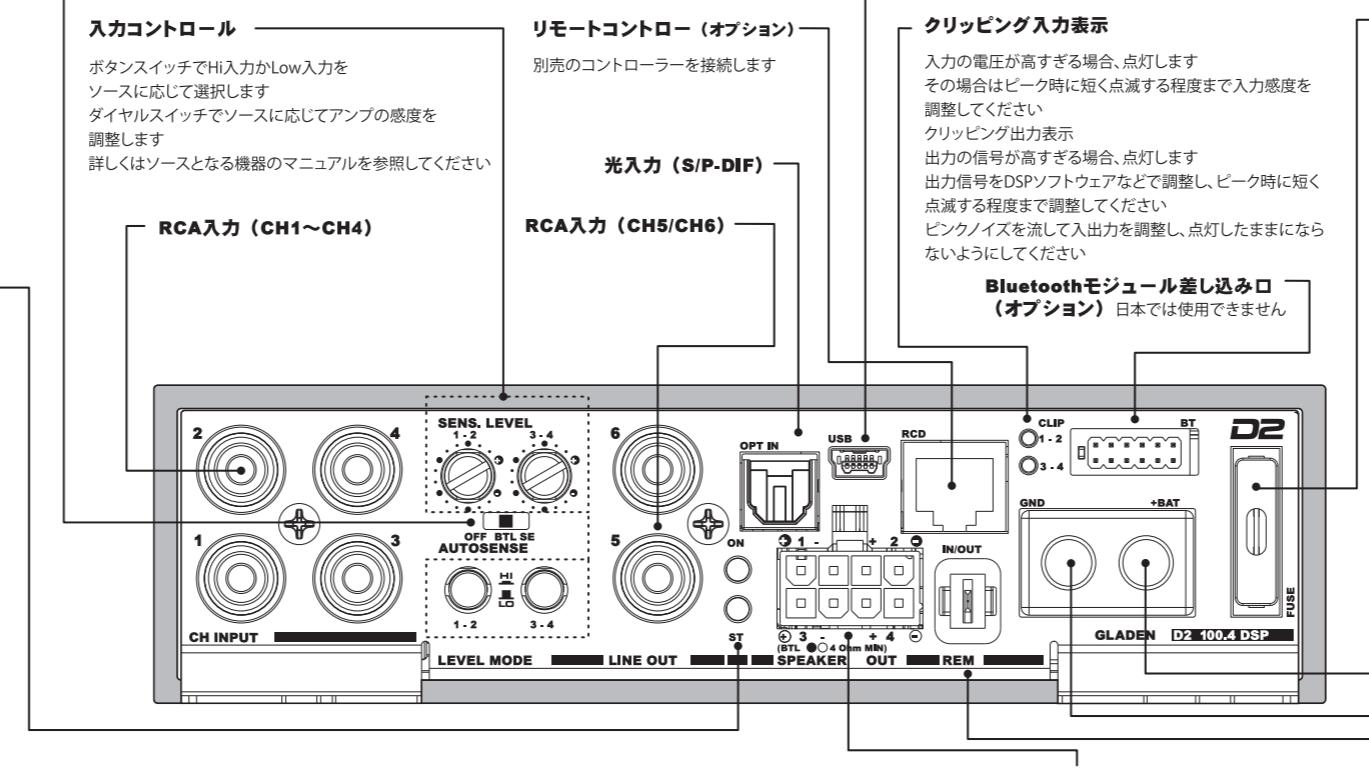
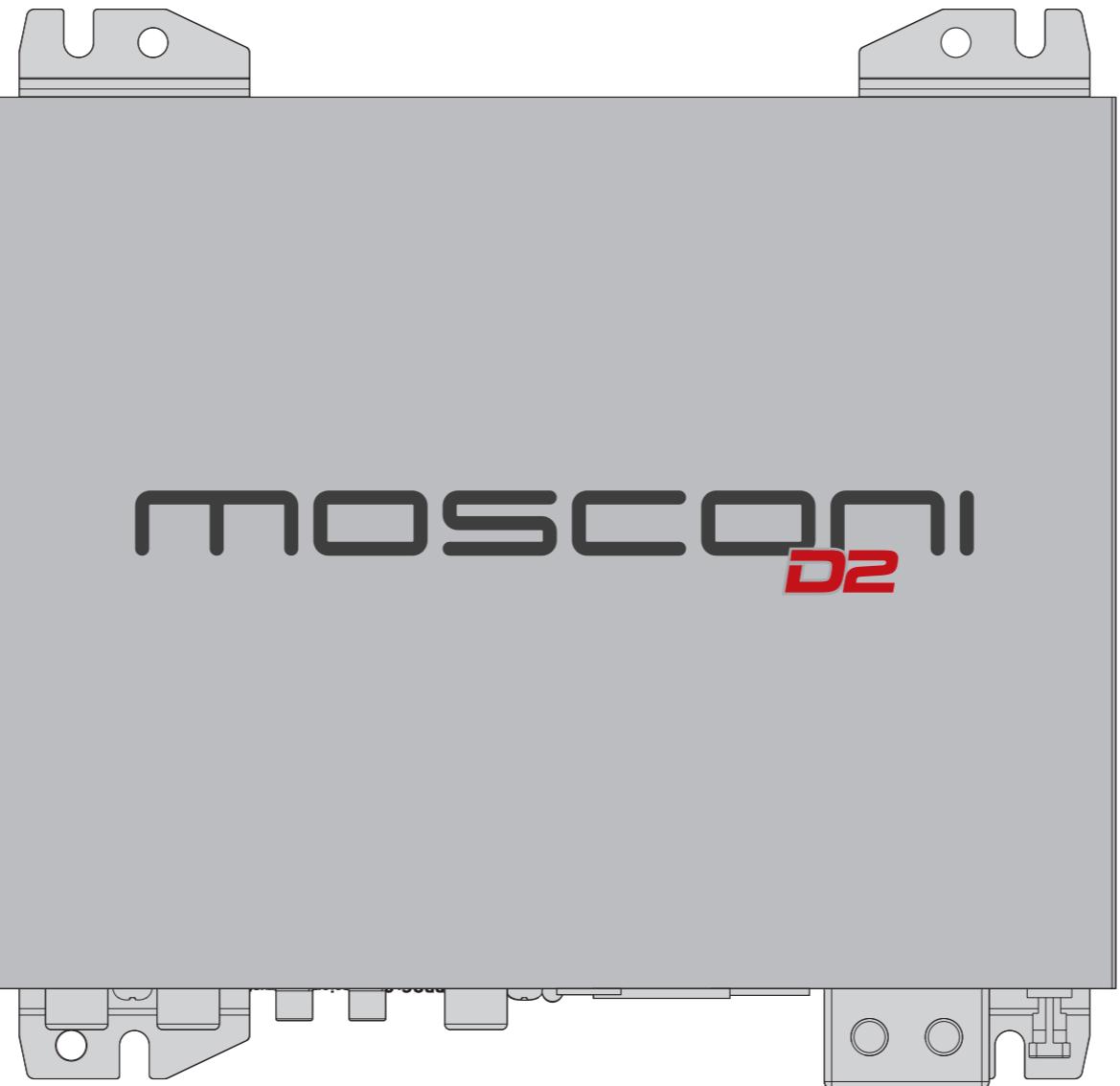
DSPソフトウェアからデータを送受信するたびにLEDは点滅します

5: シャットダウン

終了動作中はゆっくりと点滅します

6: 特殊

MCUが何らかのエラーで停止した場合、LEDは点灯したままになります
DSPソフトウェアよりファームウェアの送信が完了したとき、約1秒間点灯(この時 DSP はリセット動作中)
約2秒間早く点滅(この時アップデート動作中)その後、起動動作に入ります



スピーカー接続線

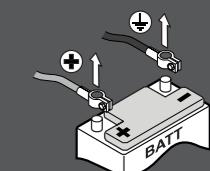
MIN. SECTION (AWG/mm²)

CURRENT (A)	0-20	14/2	12/4	12/4	10/6	10/6	8/9	8/9	8/9
20-35	12/4	10/6	8/9	8/9	6/14	6/14	6/14	6/14	4/21
35-50	10/6	8/9	8/9	6/14	6/14	4/21	4/21	4/21	4/21
50-65	8/9	8/9	6/14	4/21	4/21	4/21	4/21	4/21	2/34
65-85	6/14	6/14	4/21	4/21	2/34	2/34	2/34	2/34	0/54
85-105	6/14	6/14	4/21	2/34	2/34	2/34	2/34	2/34	0/54
105-125	4/21	4/21	4/21	2/34	2/34	2/34	0/54	0/54	0/54
125-150	2/34	2/34	2/34	2/34	0/54	0/54	0/54	0/54	0/54
	0-1.2	1.2-2.1	2.1-3.1	3.1-4.0	4.0-4.9	4.9-5.8	5.8-6.7	6.7-8.5	
									LENGTH (m.)

LENTH (m.)



12V



警告

12ボルト車にのみ使用のこと。

作業前にターミナルを外してから作業を行って下さい。

現在の負荷、ケーブルの長さに合ったパワーケーブルとゲージを使用してください。

当マニュアルの表は安全使用できる最小ゲージを示しています。

可能な限り利用可能な最大のゲージを使用してください。

ヒューズ

ヒューズを取り替えるときは、必ずソース機器の電源をOFFにし、バッテリーを外してください
茶色のヒューズを取り外し、同じモデルの同じ容量のものをご使用ください

プラス電源接続

ケーブルをバッテリーのプラス電源にしっかりと接続してください。
適正端子が付いている、できるだけ短いケーブルをご使用ください。
付属のヒューズはとは別に、バッテリーにできるだけ近い位置に
外部ヒューズを取り付けてください。



12V

ボディアース

車体のフレームまたはシャシーの金属部分にケーブルをしっかりと接続してください。
塗料をはがし、適正な端子を使用し、最短の長さのケーブルをご使用ください。

リモートコントロール

適切に終端処理されたケーブルを使って、添付のFASTON端子にソース機器のアンプリモート線を接続します
出力 CH5-6 に接続された外部アンプの ON/OFF に使います